オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

地域資源創成学部・地域資源創成学科・企業マネジメントコース　2年（植松香歩）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　2017 年 8 月 15 日　～　2017 年 9 月 16 日

〇渡航時の学年：　**2** 年次

〇渡日前の手続について
・参加に至った経緯について：
今回このプログラムに参加した理由は、一度留学してみたいという思いがあったのと他の地域に出てみて、色々な人と関わることで、自分の価値観や考え方を広げたかったという思いがあったからです。
・渡航に関する手続について：
必要書類の提出(ホームステイ先の希望など)、授業料・往復の航空券の手続き、保険料の手続き(海外保険申し込み希望者のみ)
・査証取得：
なし
★体験記：
〇生活費：
今回のプログラム費は 29 万円、往復の航空費は約１５万円(成田空港～ダニーデン国際空港)かかった。他には学校に行くまでのバス代が 8000 円ほど、週末遊びに行く費用・お土産代が 10 万円ほどかかった。
〇ホームステイ先の環境：
ホームステイ先には夫婦、中国人の留学生 2 人、犬・猫一匹ずついた。ホストファミリーはとても賑やかな方たちで、夕食はみんなで揃って、今日あった出来事などを話しながらご飯を食べ、週末はホストファミリーの友達を呼んで、パーティーをしたり、映画を見たりした。
〇大学のサポート状況：
困ったことや分からないことがあったら、親切に教えてくださった。途中でホームステイ先を変えた友達がいたが、ちゃんとお話を聞いてもらって、新しいホームステイ先を一緒に探してくれたりもしていた。
〇授業の様子：
週 3 回は 50 分×5 授業、残りの週 2 回は 50 分×4 授業であった。私の場合は、午前中に TOEIC クラス、午後に一般英語のクラスがあった。一般英語のクラスでは、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの 4 項目を満遍なくこなした。
夏季休暇ということもあり日本人が多かったが、授業内は英語オンリーだったので、スピーキング力が鍛えられた。
〇他の留学生たちの様子
中国人が多く、次いで韓国人やタイ人が多かった。
〇現地学生との交流：
現地学生との交流はなかったが、ランゲージセンターの隣の建物にジムがあり、多くの学生がよく

運動しに来ていた。

〇街の様子:

ダニーデンは小さな平和な街であった。大学から近くのジョージストリートには、多くのお店が並んでおり、何でも揃った。しかし街のだいたいのお店は 17 時半には閉まってしまうため、学校が終わってから急いで向かわないと間に合わないことがあったりもした。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

もしこれを見て迷っているなら、行くべきだと思います！日本人が多かったですが、他の留学生との交流も多かったので、英語で話さないといけないという環境にいることができました。日本人は他国の留学生に比べて、失敗を恐れてなかなか話す事が出来ない人が多いように見えたが、進んで話さないと自分が思っていることも伝わらないので、積極的にコミュニケーションを取ることが大切だと思いました。約 1 ヶ月はあっという間であり、本当に充実した日々を送ることができ、楽しかったです。